

SBクリエイティブ 株式会社

ビジネスサイド主導で進めている各システムのオートメーション化を
CData JDBC Driver を駆使することで柔軟かつ効率的に実現

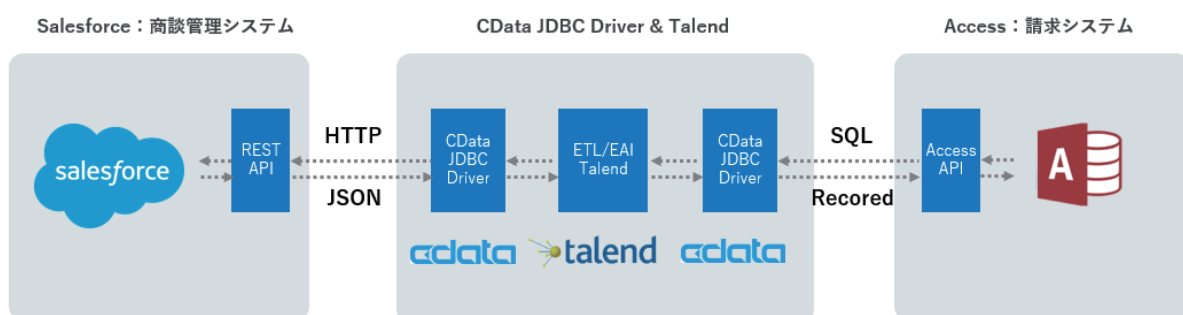
SBクリエイティブは出版事業をメインとしながら、デジタルコンテンツ・マーケティングを核としたセミナー・イベントの運営、集客支援等も展開しているコンテンツカンパニーです。

システム導入も各部門・ビジネスサイドの特性・目的に応じたアプローチを重視し、スピーディかつ柔軟にクラウド・オンプレミス問わず導入が行われています。そのような各ビジネスサイドにおけるシステム導入のスピード感・機敏性を損なうことなく、それぞれのシステムを柔軟かつ効率的にオートメーション化するために、SBクリエイティブではCData JDBC Driverを採用しました。

<実現された価値>

Challenges	Solutions
・ビジネスサイド主導でスピーディに導入している各システムをオートメーション化 ・社内のさらなるマルチクラウド・マルチベンダー・アプリケーションの増加を見据えた製品の導入	・CData JDBC Driver + ETL /EAI Tool Talend でのデータ連携を導入 ・コネクタとなる Driver の追加のみで各ビジネスサイドで新しく導入されたシステムへのオートメーション化もスムーズに実現

- System Architecture -



Q1. 【課題】 ビジネスサイド主導でスピーディに導入されている各アプリケーションの効率的なオートメーション化

SBクリエイティブは、各部門・ビジネスサイド主導で柔軟かつ目的志向で製品導入を進めています。管理本部 経営企画部 情報システム統括マネージャーの伊東氏は「数多く存在するシステムを柔軟かつ効率的なオートメーション化の実現」が今回のプロジェクトのポイントであると説明します。

「今回のプロジェクトでは、目下課題であった Salesforce と Access の連携、手動入力からオートメーション化がファーストステップでしたが、さらに各ビジネスサイドで導入しているシステムをより柔軟かつスピーディにオートメーション化できるように製品導入を行うことが大きな目的でした。弊社ではビジネスサイド主導のシステム導入を行っているため、一つのベンダーに依存したような製品選定・システム導入は行っていません。そのため、現在社内では、Oracle・SQL Server・kintone・Box 等様々なシステムが導入されており、ビジネスサイドのスピード感を損ねないためにも、今後も増え続けるそれらのシステムに対応できるようにすることは必須の要件でした」

Q2.【選定理由】多様な接続先が確保できるコネクタ・ドライバー部分が重要

SBクリエイティブがCData JDBC Driverを採用したポイントは大きく分けて3つの理由があると伊東氏は言います。

【多様な接続先】A製品は繋がるがB製品には繋がらないといったボトルネックは避けたい

【サポート・アップデート】APIのアップデート・新しいAPIへの追従とサポートの手厚さ

【ランニングコスト】イニシャルだけでなく、ランニングコストも意識した価格



管理本部 経営企画部 情報システム統括
伊東 由人氏

「最初はメジャーなETL/EAIツールを検討しましたが、値段の割にはAには繋がるけどBには繋がらないといったところが不満で不採用となりました。それで色々調べた結果、結局のところ私達が使っている複数のシステムをカバーできるコネクタ部分・ドライバーが重要なんだよね、という結論にいきつきました（笑）ビジネスサイドで使っているツールはSalesforce、Boxなどの海外製のクラウド、kintoneなどの日本製のクラウド、またローカルのDBのデータ、ExcelやAccessアプリのデータなど多岐にわたります。

その点、CData Driverは様々なETL/AIツールやBIツールから柔軟に接続できますし、ドライバーの追加・拡張だけで、接続先を増やすことができる。多様かつフレキシブルな製品を導入しているSBクリエイティブに最適な製品でした。

また、SBクリエイティブでは運用・保守を特に意識して製品の導入を行うのですが、コンポーネントとして導入することが可能なCData Driverはランニングコストの観点、技術サポートのレスポンス、アップデート対応にもフレキシブルなため、それらの点からも安心して導入することができました。」

Q3.【CData製品を使ってみた感想】サードパーティーツールとして違和感無く導入

実際の開発プロジェクトでは「とてもスムーズに導入することができた」と管理本部 経営企画部 情報システム統括の藤田氏は言います。

「CData JDBC DriverはオープンソースのETL/EAIツールであるTalendと組み合わせるととてもスムーズに導入することができました。一旦Talendから接続してしまえば、サードパーティーツールを入れている実感はまったく無く、シンプルに利用することができました。」



管理本部 経営企画部の伊東氏（写真右）と今回のプロジェクトで開発を担当された藤田氏（写真左）



SBクリエイティブ株式会社

本社：東京都港区

設立：1999年3月

資本金：1億円

同社ウェブサイトより

CDataは、米CData Software, Inc.の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。

TEL 050-5578-7390

URL www.cdata.co.jp

Email sales@cdata.co.jp

copyrights all rights reserved ©CData Software, Inc.